

南海トラフ地震に備えよう 災害時広域 避難計画って？

南海トラフ地震などの大きな地震が起こり、津波が発生するなどしたら、あなたはどうしますか。9月1日は防災の日。いざという時に備えて準備しておきましょう。

問 この記事については秘書広報課(☎24-1492 FAX 24-1119)

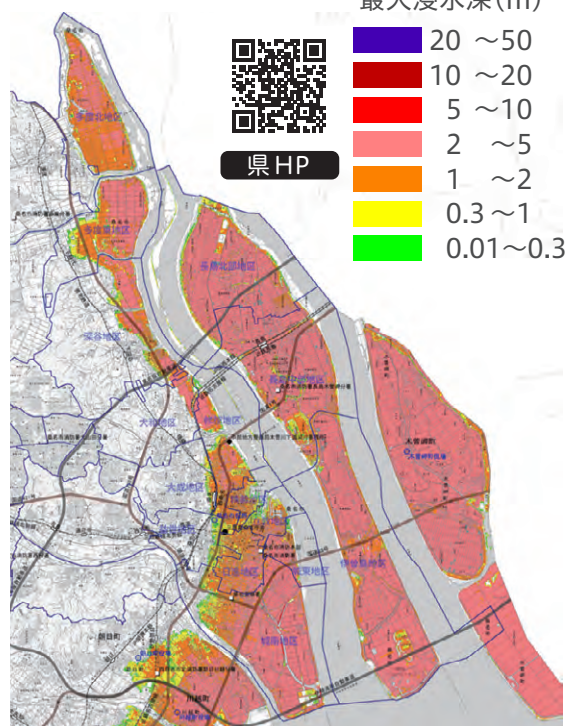
南海トラフ地震想定震源域



南海トラフ地震とは、駿河湾(静岡県)の沖合)から日向灘沖(宮崎・大分県の沖合)にかけてのプレート境界を震源域として、繰り返し発生してきた大規模地震のこと。100〜150年間隔で発生しており、前回の南海トラフ地震(昭和東南海地震「1946年」)が発生してから約80年が経過しているため、次の南海トラフ地震がいつ起ころうともおかしくありません。政府の中央防災会議による被害想定を見ると、桑名市は震度6強という強い揺れに襲われる可能性があります。また、太平洋沿岸の広い地域に10mを超える大津波の襲来が想定されているのです。

南海トラフ地震とは？

津波浸水想定図



災害時広域避難計画とは、大きな地震に伴う津波などで大規模な浸水被害が発生した場合に、市民がどのような行動をとるべきか、基本的な避難方針と行動方針を定めたものです。三重県が発表している「津波浸水想定図」を見ると、長島地区や城南地区など沿岸や川沿いのエリアは津波による浸水が想定される区域で、本計画の避難対象区域に指定されています。津波警報などが発表された時は、まずは避難対象区域外へ避難し、やむを得ず避難対象区域外へ避難できない場合は津波避難ビルなどへの避難が必要ですが、その後はどうすればいいのか、ご存じですか。もし堤防が破堤するなどの被害があると、長期的な浸水により、復旧までに相当な時間が必要になるかもしれません。自宅が浸水してしまった場合や、自宅が倒壊するなどの危険がある場合は、避難対象区域外の避難所などに避難する必要がある場合があります。次ページから、具体的に取るべき行動について紹介します。

災害時広域避難計画とは？

- 02 キラリ★くわな人
- 03 特集 南海トラフ地震に備えよう 災害時広域避難計画って？
- 08 桑名ファンクラブ設立！
- 09 桑名ほんぱく開催します！
- 10 みんなが主役 「地域で暮らす」を応援するまちづくり協議会
- 11 NakamuraEmiさんが桑名市「魅力みつけ人」に就任 「太陽光パネル・蓄電池」の共同購入の参加者募集中
- 12 子育て広場 図書館・六華苑・博物館
- 14 メディカルニュース くわな防災教室

- 15 かんたん旨レシピ みんなの掲示板
- 16 EVENT ALBUM(イベントアルバム)
- 18 くわなINFO
- 28 無料相談
- 29 多文化共生で活力を 市長まちなか探索
- 30 HAPPY BIRTHDAY 桑名のイトコ教えてください。

今月の表紙

自治会で自主的に行われた防災訓練の様子。みんなで協力してプライベートルームを設置しました。いざというときに役立つ重要な経験です。



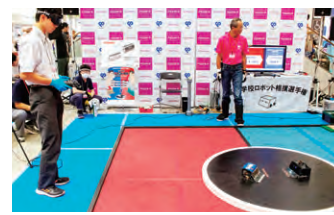
キラリ★くわな人



桑名工業高等学校 ロボット部
西井 幸虎さん 松葉 陸己さん
丹羽 信白さん 渡邊 勇翔さん

桑名工業高等学校ロボット部の代表4人が高等学校ロボット相撲選手権2023東海選手権に出場しました。ロボット相撲とは、幅20cm×奥行20cm以内、重さ3kg以内のロボットを使用し、相手より先に土俵の外に触れたら1本負け、2本先取すると勝ちとなる競技です。専用の土俵に、強い磁石が付けられたロボットが吸い付いています。選手がプロポと呼ばれるコントローラーを使ってロボットを走らせ、相手を外に押し出したり、相手の攻撃をかわすことで相手が勢い余って外に出るのを

誘ったりして戦います。今回の大会では東海地方8校が参加。桑名工業高校はベスト16で、部員は「負けて悔しいですが、1回勝つことができたので楽しかったです」と話します。また、ロボット相撲のおもしろさを聞くと「自分たちでパーツから選び、組み立て、デザインも考えて作り上げていくことと、そのロボットを操作して勝つことです」と楽しそうに答えてくれました。9月24日(日)に桑名工業高校で実施する全日本ロボット相撲北信越・東海大会に向けて、もっと強いロボットにしようと意気込みを語ってくれました。



高等学校ロボット相撲選手権2023東海選手権での取組の様子

避難指示発令中

- 大津波警報・津波警報が津波注意報に切り替わり、避難指示が解除されるまでには数日間かかることが想定されます。
- 避難対象区域外(津波の来ない高台など)へ避難した人は、近くの「避難対象区域外」の指定避難所などへ移動し、避難指示が解除されるまで自宅に戻らないでください。



避難指示発令中と解除後

避難指示解除後

自宅周辺に浸水などの被害がなかった

自宅に倒壊などの危険がある場合は避難所や親戚・友人宅などに避難

自宅の安全が確認された場合は自宅へ

市内の指定避難所で全ての避難者を収容することが難しい場合は、桑名市周辺の市町の避難施設に避難することになります。そうならないためにも、親戚や友人宅などへの縁故避難ができる人が少しでも多くなることが望まれます。

自宅周辺に浸水などの被害があった

避難対象区域外の親戚や友人宅などへ【縁故避難】

計画で推奨する指定避難所に【広域避難】

自宅周辺に浸水被害があるかないかでその後の行動が変わります

一次避難した後、津波警報が津波注意報に切り替わるなどして避難指示が解除された場合にとるべき行動を紹介します。

住んでいる地域に浸水などの被害がない場合は、自宅の安全を確認します。自宅が安全であれば戻れますが、倒壊などの危険がある場合は、専門家の家屋診断が終わるまで自宅周辺の避難所や親戚、友人宅などに避難することを推奨します。避難所は地域の自治会連合会や避難者などが協力して、開設・運営します。

一方、自宅周辺に浸水などの被害があった場合は、自宅へ戻ることができません。その場合は安全なところで一定期間、避難生活を送る必要があります。広域避難計画では、市の指定避難所を避難先に選んだ人が、安心して避難生活を送ることができるよう、推奨する指定避難所を地域ごとに明記しています。

市内の指定避難所で全ての避難者を収容することが難しい場合は、桑名市周辺の市町の避難施設に避難することになります。そうならないためにも、親戚や友人宅などへの縁故避難ができる人が少しでも多くなることが望まれます。

大津波警報・津波警報発表

||

避難指示発令



避難対象区域(津波浸水想定区域)にいる人は

避難対象区域外まで行けない場合は…

最も推奨



近くの津波避難ビルなどへ

逃げ遅れたなど遠くまで避難できない時には、少しでも安全な高い場所へ。学校や立体駐車場などがあります。



避難対象区域外の避難場所へ

津波の到達予想時間は地震発生から約90分後。大津波警報や津波警報が発表されたら、基本的には徒歩で避難対象区域外へ急ぎましょう。



避難対象区域外の親戚や友人宅などへ

いざという時のために、あらかじめ避難対象区域外の親戚や友人らに相談して頼んでおきましょう。

地震発生！避難指示発令

津波から命を守る
「二次避難」

津波避難ビルなどに避難した後

- 付近が浸水している
- けがをしているなど移動が難しい
- その後の津波の発生が確認されている

一つもチェックがつく場合

避難指示が解除されるまで、自らの判断で避難対象区域を移動せず、救助機関などの指示に基づいて行動する

一つもチェックがつかない場合

救助機関などの指示に基づいて浸水区域外に避難

まず津波の被害が想定されていない場所へ

大きな地震が発生した場合、津波の発生を想定して行動する必要があります。余震などに注意をしながらすぐに避難しなければなりません。この「命を守る避難」のことを一次避難と言います。

桑名市の場合、南海トラフ地震による津波の到達予測時間は地震の発生から約90分後とされています。この時間内に安全な場所まで避難しなければなりません。最も推奨されるのは、避難対象区域外の親戚や友人宅などへ避難することです。避難所での生活は混雑が予想され、必ずしも快適なものではありません。避難させてもらえるよう、事前に相談し、頼んでおくのが良いでしょう。

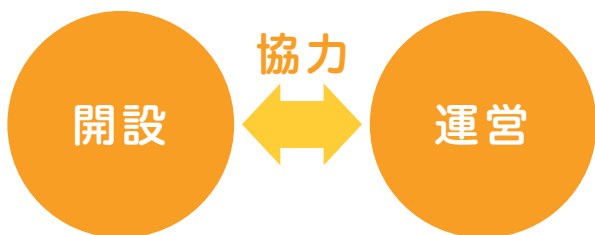
また、堤防の破壊などで津波の到達より早く浸水が始まった場合や、津波到達までに避難対象区域外へ避難できないなど、やむを得ない場合は付近の津波避難ビルや指定緊急避難場所など高いところへ避難しましょう。

浸水想定区域外の住民はどうする？

自宅が倒壊・損傷などした場合は避難

地域住民の避難のために避難所を開設

受け入れが可能なら
要請に基づいて他地域の避難者を受け入れ



開設
避難を受け入れる
自治会連合会など

運営
避難対象区域の
自治会連合会など



双方の連合会自治会等で
避難所開設と運営訓練を
しておくことが有効

避難対象区域外において津波の心配がなくても、自宅が地震の揺れによって倒壊・損傷などした場合指定避難所などで一定期間、避難生活を送る必要があります。自治会連合会等は避難所運営マニュアルに基づき、まずは地域住民の避難のため指定避難所を開設しましょう。避難所の開設とは、避難者の受付場所を設けたり、プライベートルームなどで分けしたり、避難生活を送る準備を整えることです。

地域住民の避難を受け入れた後、市から広域避難計画に基づく受け入れの要請があった時点で、他の地域からの避難者を受け入れる準備をお願いします。他地域の避難者が過半数避難所の運営は、避難対象区域の自治会連合会などが避難を受け入れる連合自治会などの協力を得ながら行います。避難所の運営とは、備蓄品や支援物資を配ったり、トイレの準備をしたり、避難環境を整え、避難生活の秩序を保つことです。お互いが協力し合って避難生活を送れるようにしてください。

今後の災害時広域避難計画について

今回紹介した、南海トラフ地震に伴う津波災害以外の「南海トラフ臨時情報発表」や「大規模風水害発生」、「高潮特別警報発表」の際の避難行動については、災害時広域避難計画に追記する形で、今後順次更新していきます。

南海トラフ地震に伴う津波災害

南海トラフ臨時情報発表

大規模風水害

高潮特別警報発表

随時更新

避難所が混雑している場合は？



推奨

地域単位での避難生活を望む場合



避難対象区域外の
親戚や友人宅などへ



計画で推奨する指定避難所に
【広域避難】

今いる避難所から指定避難所へ移動する際には、準備が整いますが、数日から1週間程度の時間がかかる想定されますので、できるだけご自身で移動していただくこともできます。

市内で複数箇所、広範囲に浸水被害が発生している場合は、多くの避難者で浸水区域近くの避難所が混雑することが予想されます。そのような場合や、地域単位での避難生活を望む場合は、広域避難計画で推奨している指定避難所へ移動してください。計画では、少しでも安心して避難生活を送ることができるよう、自治会連合会ごとに避難先を設定しています。左下のQRコードから自分の地域の指定避難所を確認しておくといでしょう。ただし、あくまで避難先を推奨するものであり、強制ではありません。今いる避難所で避難生活を送れるとご自身が判断した場合は、その場に留まることもできます。

なお、桑名市では浸水想定区域外に41カ所の避難所を指定しています。主に小・中学校や県立高校、まちづくり拠点施設などです。避難所では多くの人が生活するため、それぞれのルールやマナーがあります。また、慣れない避難生活による過労やストレスから、体調を崩してしまうこともあるため、できるだけ縁故避難をすることをおすすめしています。

広域避難計画で指定されている指定避難所への移動を推奨します

推奨する
広域避難時の
指定避難所は
こちらから確認を

